

令和元年度 ベストプラクティス企業への職場訪問

11月の過重労働解消キャンペーンの一環として、令和元年11月11日（月）に福井労働局長（嶋田悦郎）は厚生労働省の「業務改善助成金^{*}」を活用して機械設備を購入し、業務改善に取り組む企業の職場訪問を実施しました。

○職場訪問概要

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 訪問日時 | 令和元年11月11日（月）13:30～ |
| 2 訪問企業の概要 | |
| (1) 企業の名称 | 株式会社 米五 |
| (2) 所在地 | 福井市春山2-15-26 |
| (3) 代表者 | 代表取締役 多田和博 |
| (4) 労働者数 | 28人（パート含む） |
| (5) 業務内容 | 味噌の製造・販売 |



○株式会社米五の取組

1 製造部門の作業時間の改善の取組

(1) 味噌の袋詰作業の課題

従来味噌については、工場1階において手作業で包装していた。

味噌の出荷量の増加等に伴い、手作業による包装では対応しきれなくなったことから、1階で味噌を袋に入れた後、2階にある米麴商品を包装するための真空包装機を使用して味噌を包装していた。

ところが、工場1階で袋詰めした味噌（1回、重さ約20kg）を工場2階の真空包装機まで階段で運ぶため、身体的な負担や運搬・手待時間などの作業時間のロスが発生する状態となった。

(2) 業務改善助成金の活用による真空包装機の購入による改善

福井労働局の業務改善助成金を活用し、工場1階の味噌作業場にも真空包装機を購入した。

その結果、運搬作業がなくなり身体的負担が減少するとともに、月間の真空包装に係る作業時間が約10分の1に短縮され、短縮された時間を活用し出荷前の2重チェックによる品質向上につながった。

《会社の取組について説明する多田社長》



《工場での真空包装機の説明の様子》



2 働き方改革の取組

労働者の高齢化に伴う退職者や高年齢労働者の増加のため、2009年から新規学校卒業者を採用するようになった。

そのため、高年齢労働者と若年労働者が混在するようになり、これを機に若い労働者の育成と若い労働者が長く働きやすい職場環境の整備に取組むこととした。

特に「共に感じ、共に語り、共に知り、共に働き、共に成長する」を経営理念として、一人一人が生き生きと仕事を通じて成長できるようにキャリアプランや能力開発の取組を行い、長く安心して働ける体制を作っていくこととして様々な取組を実施している。

(1) 長時間労働削減の取組

従来の労働者の意識改革と長時間労働の削減するため、毎月の中間時点での時間外労働を集計したものを周知して見える化を図り、各労働者の意識改革に努めるとともに、時間外労働の抑制を進めている。

その結果、1か月の時間外労働は繁忙期でも過去平均40時間であったものが、近年平均25時間以下で定着するようになった。

《労働者との対談の様子》



(2) ワークライフバランスの取組

近年、女性労働者が増えてきたことから、女性の働きやすい職場の整備にも取組み、結婚、出産、育児等の各ライフステージにおいて、仕事と家庭を両立できるよう制度の整備や労働者の意識改革に取り組んできたもの。

その結果、子供の学校行事などの時間単位も含め、有給休暇取得率が徐々に向上してきており、新規学校卒業者の離職率もほぼゼロとなっている。

《職場訪問の記念撮影》



※左から、奥田さん、嶋田局長、多田社長、梅田さん

※ **業務改善助成金**とは、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援することで、「事業場内最低賃金（事業場内で最も低い賃金）」の引上げを図るための制度です。

問合せ先 福井労働局雇用環境・均等室 0776-22-0221